

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 ニセ電話詐欺防止対策・高齢者安全対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 生活安全部 生活安全総務課 電話番号：058-271-2424(内 3011)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,704千円(前年度予算額：2,915千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,915	0	0	0	0	0	0	0	2,915
要求額	2,704	0	0	0	0	0	0	0	2,704
決定額	2,704	0	0	0	0	0	0	0	2,704

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内の特殊詐欺発生状況(令和2年9月末現在)は、認知件数107件(前年同期比+20件)、被害額1億5,912万円(前年同期比-3,904万円)と被害額は減少しているものの、認知件数については増加しており、その被害は依然として深刻な状況にある。

このうち、高齢者被害は78件と全体の73%を占めており、高齢者の被害防止対策が喫緊の課題となっている。

(2) 事業内容

○ニセ電話詐欺防止対策

- ・電話回線疑似交換機を活用した広報活動

デモンストレーションの電話機を使用し、実際に高齢者に体験してもらうことでニセ電話詐欺被害に関する注意喚起を行い、特殊詐欺等犯罪被害防止を図る。

- ・小冊子を活用した特殊詐欺被害防止対策

特殊詐欺の手口・対策等が記載された小冊子を企業に働く現役世代に

配布する。

○高齢者安全・安心対策事業

- ・高齢者安全対策指導班による特殊詐欺被害防止指導の実施
- ・高齢者に分かりやすい広報啓発を推進するため、複雑化しているニセ電話詐欺の手口を市民劇団による寸劇で分かりやすく説明し啓発する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内に居住する高齢者に対する犯罪や事故防止のほか、特殊詐欺被害防止のための事業であり県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	250	☑市民劇団出演料
旅費	196	☑市民劇団依頼旅費
需用費	2,258	高齢者安全対策指導班用事務費、印刷製本費、☑電話回線疑似交換機・電話機等、特殊詐欺被害防止小冊子
合計	2,704	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
犯罪や暴力、事故のない地域をつくる
地域防犯活動を強化する

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
特殊詐欺認知状況	(H)	229件 (H29)	125件 (H30)	126件 (R元)	(H)	%
特殊詐欺被害額の状況	(H)	3億3千万 (H29)	2億7千万 (H30)	2億7千万 (R元)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

高齢者の犯罪や事故を根絶することを目標として各種広報啓発活動を行っており、高齢者への浸透度合いを測ることは難しく、目標設定は困難である。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - ・ニセ電話詐欺あたり電話撃退装置貸出状況（令和2年9月末現在）
1,175台中1,085台（92.3%）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
高齢者安全指導班による防犯講話は好評で、特殊詐欺の手口について理解できたなどの声が多く聞かれた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県内の高齢者の身体・財産の保護を目的に事業展開しており、高齢者がいきいき暮らす社会とするため、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	特殊詐欺による高齢者の被害は後を絶たず、高齢者に分かりやすい広報等は好評であり、今後の被害抑止につながると期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	特殊詐欺による高齢者の被害防止のため、限られた予算を効果的かつ効率的に活用するよう努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢者をターゲットとする犯罪及び高齢者を狙う犯罪グループは数多くあり、警察がこれまで展開している防犯対策や検挙対策では追いつかない状況にあるため、高齢者自身の犯罪に対する抵抗力を高める必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後、高齢化社会が一層進展していくことは間違いなく、犯罪のターゲットになりやすい高齢者を保護するためにも継続した対策を展開する必要がある。また、関係機関との連携も強化して進めていきたい。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	